

平成 28 年度 第 4 回コンクリート常任委員会 議事録案

日 時：2016 年 11 月 16 日（水）14 時～17 時

場 所：土木学会 AB 会議室

出席者：前川委員長、宇治、氏家、内田、梅原、河合、坂田、下村、竹田、武若、田中、谷村、土谷、中村、二羽、橋本、濱田、松尾（代理）、丸屋、水口、宮川、睦好の各常任委員、綾野、岩波、齊藤、名倉、久田の各常任委員兼幹事

配布資料：

- 4-0 平成 28 年度第 4 回コンクリート常任委員会議事次第
- 4-1 平成 28 年度第 1 回コンクリート委員会・第 3 回コンクリート常任委員会議事録案
- 4-2 コンクリート委員会次期委員長推薦投票方法
- 4-3 コンクリート教育研究小委員会（201）委員構成 変更案
- 4-4 亜鉛めっき鉄筋指針改訂小委員会 委員構成
- 4-5 コンクリート委員会への委託「セメント系補強材料を用いたコンクリート構造物の補修補強研究委員会」（ppt 資料）
- 4-6 海外セミナーで使用した ppt ファイルの取り扱いについて（国際関連小委員会）
- 4-7 エポキシ樹脂塗装鉄筋の曲げ試験方法に関する品質規格（JSCE-E 102）と曲げ試験方法（案）（JSCE-E 515）について
- 4-8 新刊コンクリートライブラリー145 号「施工性能に基づくコンクリートの配合設計・施工指針（2016 年版）」に関する各地区での講習会開催計画状況（2016 年 11 月 9 日現在）
- 4-9 コンクリートライブラリー第 148 号「コンクリート構造物における品質を確保した生産性向上に関する提案」に関する講習会のご案内（東京会場、大阪会場）
- 4-10-1 コンクリート標準示方書改訂小委員会（設計編部会）
- 4-10-2 コンクリート標準示方書 施工編部会の活動状況

議事：

1. 委員長挨拶

前川委員長より、下記の挨拶がなされた。

- ・ 来年は、示方書をはじめコンクリート委員会に関する指針等が数多く発刊される予定であり、一層のご協力をお願いしたい。

2. 平成 28 年度第 1 回コンクリート委員会・第 3 回コンクリート常任委員会議事録の確認

名倉幹事より、議事録案の内容が紹介された。特に意見はなく、議事録案は了承された。

審議事項：

1. 土木学会コンクリート委員会 次期委員長推薦投票について

齊藤幹事より、次期委員長の推薦投票に関する規定が説明され、内容について了承された。次回の常任委員会で開票し、次期委員長候補を決定する。

2. 第 2 種委員会の委員構成

前川委員長より、以下の(1)～(2)の説明がなされ、いずれの委員会も委員構成の変更が了承された。

- (1) コンクリート教育小委員会 委員構成（案）

・服部雅史委員が退任、飛田一彬委員が新任

(2) 亜鉛めっき鉄筋指針改訂小委員会 委員構成（案）

・加藤委員、上東委員の所属名称変更、島多委員が退任、安中委員が新任

3. 第2種委員会「セメント系補強材料を用いたコンクリート構造物の補修補強研究小委員会」について

前川委員長より、当該委員会の活動内容、委員構成等に関する説明がなされ、本委員会の委員長を上田委員、幹事長を下村委員として設置が了承された。なお、委員会の名称は「セメント系材料を用いたコンクリート構造物の補修補強研究小委員会」とする。

4. 海外セミナーで使用した ppt 等ファイルの取り扱いについて（国際関連小委員会）

濱田委員より、これまで海外セミナーで使用した ppt ファイルの取り扱いについてのルール案が提示され、本案通りで運用し、支障があるようであれば、改めて常任委員会で審議することです承された。

5. その他

特になし

承認事項：

1. エポキシ樹脂塗装鉄筋の曲げ試験方法に関する品質規格（JSCE-E 102）と曲げ試験方法（案）（JSCE-E 515）について

前川委員長、久田幹事より、両規準の記載事項の不整合についての経緯説明がなされ、内容について承認された。本内容については、web にて公開するとともに、現在作業中である規準編の改訂作業の中で改訂を行う。

（すでに公開済み）

報告事項：

1. 2016 年度海外セミナーの実施場所の変更について

濱田委員より、インドネシアでの開催について、2016 年度は 3 月にインドネシアのスラウェシ島・マカッサルにて開催することで計画を進めていることが報告された。

2. 報告会・講習会の開催について

(1) 「施工性能にもとづくコンクリートの配合設計・施工指針（案）」支部講習会の開催状況について
橋本委員より、当該講習会の開催状況について報告がなされ、福岡および札幌での開催（いずれも 11 月 22 日）について、参加呼掛けの協力要請がなされた。

(2) 「コンクリート構造物における品質を確保した生産性向上に関する提案」講習会の開催について
中村委員より、東京会場および大阪会場での開催概要について報告がなされた。宮川委員より、大阪の講習会では、多数の参加を促すためにも、関西支部の方に挨拶をして頂いてはどうか、との提案があった。

3. 示方書改訂小委員会の活動状況について

示方書改訂の作業状況について、以下の通り報告がなされた。

<全体の改訂方針（宮川委員（示方書改訂小委員会委員長）より）>

・「基本原則編」「ダム編」については、改訂は行わない。

- ・施工編は2018年3月、維持管理編は2018年9月を予定。
- ・紙媒体に加え電子媒体でも出版する。
- ・設計、施工、維持管理の効果的な連携を実現する。
- ・“丈夫で美しく長持ち” 実現のための、シナリオデザインの着実な一歩。

<設計編（中村委員（設計編部会副主査）より）>

- ・構造設計：RC床版の疲労、過大かぶり部材の耐荷力の評価方法、プレキャスト部材の取扱い
- ・耐久設計：温度ひび割れの照査方法、水の浸透深さによる腐食に対する照査、ASRに対する対応
- ・耐震設計：部材の変形性能の評価法、多方向入力に用いる地震動、減衰の取扱い、震災の教訓
- ・津波：設計、作用など、改訂資料に掲載する方向で検討する。また、構造計画での取扱いなど可能な限り本編でも記載する。
- ・施工編との連携：構造設計だけでなく材料設計（種類、施工性など）も含めた検討

<施工編（武若委員（施工編部会主査）より）>

- ・他編との連携強化：これまでの施工編部会にない人員で構成
- ・連携強化のための体制：設計編、維持管理編の連携委員の配置
- ・設計編との連携：用語・目次の統一（目地と継目等）、設計編におけるマスコン温度解析節立てに伴う設計編との調整、施工性を設計において考慮する目的を議論、設計編におけるプレキャストに関する構成の再編に伴う設計編との調整
- ・維持管理編との連携：記録に残すべき項目（不具合、施工時に補修した初期欠陥、等）の検討
- ・施工編・部会内WG間の連携：本編⇔施工標準、本編⇔検査標準など
- ・その他：担い手不足等の課題解決に向けた品質確保と生産性向上への取組み、PDCA思想の取込み、本編における施工計画の強化

<維持管理編（河合委員（維持管理編部会主査）より）>

- ・設計編との連携、性能評価方法の拡充、検査項目（施工段階）との整合、劣化現象別維持管理の見直し（例えば、作用別維持管理、など）、点検に関する記述の見直し、疲労およびプレストレストコンクリート部分の見直し、マネジメントに関する記述内容の見直し、構造物別の維持管理といった観点での検討

説明後の意見交換で出た主なコメントは以下の通りであるが、宮川委員から、今後も意見がある場合には、下村委員（示方書改訂小委員会幹事長）に寄せて欲しいとの依頼がなされた。

- ・かぶりが過大になり構造物としてアンバランスにならないように、現実的なかぶりの確保という観点での検討を進めて欲しい。
- ・これまでの示方書では、津波について全く触れていないので、明示して欲しい。
- ・東日本大震災や笹子トンネル事故、熊本中部地震などで得た教訓（支承、目地、地覆、排水、付属設備、上部工・下部工の連携、など）といった「構造物」としての視点も考慮して欲しい。
- ・良いものを作るための設計から施工へと繋げていくという観点が、設計→施工の連携において重要。
- ・PDCA思想の取込みについては、「次の構造物を作るために今行っている施工の情報を回す大きなPDCAと、今、行っている施工の中でも次のロットのために改善を図る小さなPDCAサイクルを意識することでよりよい品質の構造物を構築する」といった品質管理として当然の行為を記載する。
- ・施工編のマスコンクリートは、前回の改訂時にかなり議論した経緯がある。今回の改訂でも利用者が使いやすくすることを念頭によく議論してほしい。

(その後の話合いで、内容が変わるのではなく構成が変わることを確認した)

4. その他
特になし

次回開催日：

第5回コンクリート常任委員会

日 時：2017年1月16日（月）14時～17時

場 所：土木学会講堂（予定）

議題は1月6日（金）までに幹事へ

話題提供：

(1) 松尾様（松村委員 代理）